

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.授業時間内のグループワーク 3.毎時間の振り返り(Forms) 4.各学期の考査 以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	数学					科目	数学 I
クラス又は班	1年1組	1年2組	1年3組	1年4組	1年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	新編数学 I (数研出版) スタートでつまづかない

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
小中学校で学んだ基本的な計算方法を確実に習得する。数と式の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりできるようにする。 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4	正負の数と数直線・絶対値				39
		絶対値の性質				
		数の大小関係				
	5	単項式・多項式				
		簡単な加法の計算				
		簡単な減法の計算				
	6	同類項、降べきの順				
		加法と減法の混じった計算				
		簡単な数の乗法の計算				
	7	乗法公式				
2 学 期	9	文字式の計算				39
		一次式の四則演算				
		因数分解の公式				
	10	因数分解の公式				
		置き換えによる因数分解				
	11	実数の分類、平方根の計算法則				
	12	平方根とその計算				
3 学 期	1	一次方程式				27
		いろいろな形の一次方程式の解法の復習				
		一次方程式の文章題				
	2	不等式				
		不等号、不等式の解、数直線				
		不等式の性質、一次不等式の解き方、文章題、連立不等式				
	3	不等式の性質、一次不等式の解き方、文章題、連立不等式				
		不等式の応用問題				

年間予定授業時間数

105

評価の方法	【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態度 【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。
備考	年度当初に基礎学力診断テストを行い、科で基準を設けたうえで、Bクラス的人数が10人程度になるように分ける。この年間授業計画はABクラス共通である。

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等) 3.提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況) 4.小テスト(单元ごとに実施) 5.確認テスト(学期に3回実施)
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態度 【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	①Listening test、Reading test、Speaking test、確認テスト ②授業態度 ③課題提出 以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	保健体育					科目	体育
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	ステップアップ高校スポーツ

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
技能について、指示された記録や目標とする動きにおおむね達成している。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。	自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したり、まとめることができる。周りの生徒と協力し、的確なアドバイスをすることができる。	欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や支持をよく聞き、準備や片付けを積極的に行う。ことができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。

学期(月)	指 導 項 目	指 導 内 容	評価基準			予 定 時 数		
			知	思	態			
1 学 期	4	スポーツテスト	各種スポーツテスト	○	○	○	5	
	5	バドミントン/サッカー/柔道・卓球 習熟度で3種目に分かれる	基本技術の習得 個人技能の習得 ゲーム	○	○	○	11	
		6	体育理論	スポーツの始まりと変遷	○	○	○	10
			文化としてのスポーツ					
	7	水泳	安全に関しての知識 クロール 平泳ぎ	○	○	○		
2 学 期	9	水泳	タイムトライアル	○	○	○	8	
	10	バレーボール	基礎技術の習得	○	○	○	10	
		テニス・卓球	個人技能の習得					
		バスケットボール	ゲーム					
	11	バレーボール	基礎技術の習得	○	○	○	10	
		テニス・卓球	個人技能の習得					
		バスケットボール	ゲーム					
12	体育理論	オリンピックとパラリンピックの意義	○	○	○	2		
		スポーツが経済に及ぼす効果						
3 学 期	1	持久走	マラソン大会に向けての練習	○	○	○	6	
	2	バスケットボール/サッカー/卓球 習熟度で3種目に分かれる	基本技術の習得 個人技能の習得 ゲーム	○	○	○	6	
	3	体育理論	スポーツとドーピング	○	○	○	2	
		スポーツと環境						

年間予定授業時間数

70

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・主体的に学習に取り組む態度等 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		保健体育					科目	保健			
クラス又は班		11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材			
担当者							1	現代高等保健体育			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】			
知識・技能を問う問題について、おおむね解答することができる。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。				思考・判断・表現を問う問題に対して積極的に取り組み、おおむね解答できる。自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したりまとめることができる。				欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や指示をよく聞きながらも、積極的に自分の意見を発言し、周りの生徒と協力することができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。			
学期	(月)	指導項目			指導内容			評価基準			予定 時数
								知	思	態	
1 学 期	4	現代社会と健康			オリエンテーション						3
					健康の考え方と成り立ち			○	○	○	
					私たちの健康のすがた						
	5	現代社会と健康			生活習慣病の予防と回復						3
					がんの原因と予防			○	○	○	
					がんの治療と回復						
	6	現代社会と健康			運動と健康						3
					食事と健康			○	○	○	
					休養・睡眠と健康						
	7	現代社会と健康			確認テスト対策						4
喫煙と健康					○	○	○				
飲酒と健康											
2 学 期	9	現代社会と健康			薬物乱用と健康						3
					精神疾患の特徴			○	○	○	
					精神疾患の予防						
	10	現代社会と健康			精神疾患からの回復						3
					現代の感染症			○	○	○	
					感染症の予防						
	11	現代社会と健康			性感染症・エイズとその予防						3
					健康に関する意思決・行動選択			○	○	○	
					健康に関する環境づくり						
	12	現代社会と健康			確認テスト対策						4
確認テスト					○	○	○				
答案返却											
3 学 期	1	安全な社会生活			事故の現状と発生要因						3
					安全な社会の形成			○	○	○	
					交通における安全						
	2	安全な社会生活			応急手当の意義とその基本						3
					日常的な応急手当			○	○	○	
					心肺蘇生法						
	3	安全な社会生活			確認テスト対策						3
確認テスト					○	○	○				
答案返却											

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学習に取り組む態度等 ・各学期確認テスト 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	芸術					科目	音楽Ⅰ
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	MOUSA1

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	楽しく歌おう 姿勢を正しく(ストレッチ)	○	○	○	28
	5	ボイストレーニング 表情筋トレーニング 目、鼻、のどを開く 声を響かせる	○	○	○	
	6	声を磨こう ボディマップ	○	○	○	
	7	ハーモニーを楽しもう 全体の響きを感じる	○	○	○	
2 学期	9	音楽の仕組みを理解しよう 楽曲、リズム、メロディー、ハーモニー、etc	○	○	○	30
	10	アンサンブルをしよう キーボード、ギター 正しい奏法(運指)を身に付ける	○	○	○	
	11	人間と音楽との関係について 考察しよう 日本の音楽、世界の諸民族の音楽	○	○	○	
	12	ボイスアンサンブルを楽しもう リズムを音声において感じる	○	○	○	
3 学期	1	合唱の楽しみ 自分の声を磨く 全体の響きを感じる	○	○	○	12
	2	アカペラ曲 表現	○	○	○	
	3	アカペラ曲 歌詞の内容にあった表現の工夫をする	○	○	○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	音楽文化を尊重し、主体的・創造的に音楽の学習的に取り組もうとしているか 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもって いるか 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表しているか 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっているか
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	アイデアを十分に練り、アドバイスを受け自分なりにアレンジしていったか 主体的に制作に取り組んだか。豊かな発想か、技能を身につけ工夫できたか。 技能を身につけ工夫できたか。創造活動を楽しみ自分らしい表現ができたか。 その他、総合的に判断して評価する。
備 考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	芸術					科目	美術 I
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	高校生の美術

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ②意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	オリエンテーション				28
		高校の美術	○	○	○	
	5	表現したい図案の考察				
		点描(ボールペンによる単色表現)① ボールペンの種類・特性	○	○	○	
		モノクロの美しさについて				
	6	点描(ボールペンによる単色表現)② 光と影の関係性について				
		明暗と濃淡の表現方法	○	○	○	
2 学期	9	構図の工夫				30
		計画性を持ち持続性を養う	○	○	○	
	10	木の持つ性質を知る				
			○	○	○	
	11	安全かつ正しい道具の扱い方				
			○	○	○	
3 学期	12	実用性のあるデザインの工夫				12
			○	○	○	
	1	独創的な立体物の形成				
		木の特徴を生かした加工方法	○	○	○	
	2	アイディアスケッチ				
		配色の工夫と考察	○	○	○	
3 学期	3	デザインの展開				12
		ポスターカラーの特性について	○	○	○	
	2	丁寧な細工・仕上				
		平塗技法の習得	○	○	○	
	1					

年間予定授業時間数

70

評価の方法	アイディアを十分に練り、アドバイスを受け、自分らしさを表現できたか 主体的かつ計画的に制作に取り組んだか、豊かな発想・技能を身につけ工夫できたか、 技能を身につけ工夫できたか、創造活動を楽しみ個性を打ち出すことができたか その他、総合的に判断して評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.主体的に取り組む態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装、報告書の内容提出状況等) 2.知識・技術(到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫) 3.思考・判断・表現(創意工夫、学習意欲、集中度、発表意欲) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.知識・技能(到達度、作品や課題の完成度など) 2.思考・判断・表現(作図中の用具の選択、創意工夫など) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(出欠・遅刻の状況、集中度、忘れ物、提出物など)
備考	※1クラス2展開(小人数)で授業を行う

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	※1クラス2展開で授業(座学)を行う ※パソコン・タブレットの使用方法(実技)は全員で授業を行う

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	○授業に対して積極的に取り組んでいる ○外部講師や企業の方と接する際の礼儀作法を身につけている。 ○資料の中からの的確に情報を収集することができる。 ○自身の考えを指定された様式で書き表すことができる。
備考	朝学習として、月曜日から金曜日の朝10分間授業(週5回)を含む。

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備 考	